

建設技術公開「E E東北'22」への出展について

2022年6月1日(水)から2日(木)までの2日間、みやぎ産業交流センター 夢メッセみやぎで開催される「建設技術公開 E E東北'22」へ出展いたします。

E E東北は、国土交通省東北地方整備局主催で1990年から開催されており、ヒロセは11度目の出展となります。今回はヒロセグループのヒロセ補強土(株)、成幸利根(株)、ヒロセホールディングス(株)の4社合同で出展し、各社の主要商品をご紹介します。

皆様のご来場をお待ちしております。

1. 開催内容

主催：E E東北実行委員会

名称：建設技術公開「E E東北'22」

<http://ee-tohoku.jp/ee22/index.html>



会期：2022年6月1日(水) 10:00-16:30 2日(木) 9:30-16:00

会場：みやぎ産業交流センター 夢メッセみやぎ (ブース:A-86)

交通：JR仙石線 多賀城駅～会場間、無料シャトルバス運行

入場料：無料

2. 展示内容

高強度腹起材「ヒロセメガビーム®」

山留で最大部材 H500 の2倍程度の強度を有した高強度材を使用。切梁・中間杭を削減し作業空間を確保することで、山留架設・土工事・躯体構築で工期短縮が図れる。在来山留材との組合せが可能でボルト接合が少なく作業性にも優れた工法。(NETIS:KK-150043-VR)



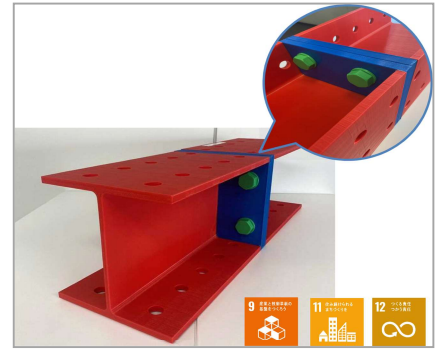
高強度切梁材「ヒロセツインビーム®」

座屈性能が高く、最大切梁スパン9~18mまで対応可能。中間杭を削減できるため施工コストの圧縮・工期・安全性・躯体品質の向上が実現できる。また、カバープレート無くし施工性も向上させた。



次世代山留材

少ない人・モノで重仮設における生産性の向上と環境負荷低減を実現するために、大阪市立大学と共同で『次世代山留材』を開発しました(特許・実用新案取得済)。従来品と異なり、次世代山留材には、①エンドプレート材質の高強度化(SS400 から SM490 に変更) ②添接板を使用しない接合方法 ③ハイテンションボルトの使用によるボルト本数削減 ④整備の簡素化という特徴を有しており、安全性と施工品質の向上が図れます。今後、実際の建設現場にて試験施工を行い、改良を重ね、実用開始を目指します。



超大型重機対応仮橋 プレガダー®Ⅲ

【特徴】

- ・ 大型重機（500 t 吊クローラークレーン等）作業でも、スパンを飛ばせます
- ・ 200t 吊クローラークレーン作業で、最大スパン L=24m まで可能（日本最大級）
- ・ 大河川の通年施工にも対応可能
- ・ 桁高は、わずか 1,610 mm
- ・ 工期短縮・省力化を可能に
(国土交通省/NEXCO 東日本/JR 東日本/地方公共団体等、実績あり)



工期短縮仮橋

施工工程を一部省略し「安全施工」と「工期短縮」を実現！

- ◆HiDo レス工法（導杭不要で工期短縮）
 - ・ 導杭工程を省略する事で、工期短縮・安全施工を実現
- ◆ヒロセメガクランプ（溶接不要のプレス材）
 - ・ 溶接工程を省略する事で、工期短縮。下部工ユニット架設（即結管ベエと併用）が可能
- ◆即結管ベエ（溶接不要の鋼管継手） ☆全国初！東北で施工実績あり
 - ・ 接続部分の溶接工程を省略する事で、工期短縮・安全施工を実現



重仮設業界初の EC サイト「みんなの鋼太郎®」

少子高齢化による生産労働人口の減少を背景に、建設業界では、働き方改革の推進、生産性向上が喫緊の課題となっています。その一助として、お客様の資材手配を省力化するために開発しました。重仮設資材発注に必要な在庫確認、見積作成、契約締結、デリバリー依頼を電子化し、お客様には現場で必要な材料を少量でも簡単に発注できるシステムとなっています。



PS-Bridge® (ヒロセホールディングス)
空気膜式緊急復旧橋



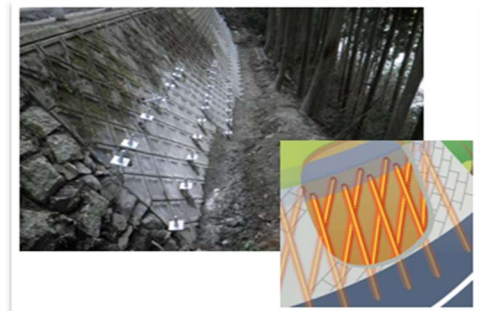
UFB 発生装置 (ヒロセホールディングス)
ウルトラファインバブル



M1 ウォール (ヒロセ補強土)
パネル組立式大型ブロック



EP ルートパイル®工法 (ヒロセ補強土)
地山補強土工法



EPS
発泡スチロール土工法 (ヒロセ補強土)



フレックス エコ ウォール®工法
耐震性鉛直遮水壁工法(成幸利根)



◇お問合せはこちら

ヒロセ株式会社 企画管理本部総務管理部 水谷真由美 TEL:03-5634-4538

以 上